

## 第7事業年度(2024年10月1日~2025年9月30日) 事業報告

### 1. 事業目的

昨期同様にアジア、アフリカの恵まれない子どもたち、女性、青年たちの教育、健康等に関するを中心に支援活動をいたしました。

- アフリカ支援では、特に度重なる内戦、疫病、自然災害に苦しむコンゴ民主共和国（以下 RDC と記す）の東部地方を重点的に行っています。支援は、聖マリア修道女会を通して実施されています。
- アジア支援の一つカンボジア支援は、昨今ますます貧富の差が拡大し、農村部では子どもたちの教育や生活環境はいまだ改善が遅れています。特にシェムリアップ近郊の貧しい村を対象に継続的に支援を行っています。この支援は現地のイエズス会の司祭を通して実施されています。
- アジア支援の二つ目の支援先東チモールは、アタウロ島の子ども、女性、青少年たちを対象に教育、医療面についての環境整備等の支援を行っています。支援は、聖マリア修道女会を通して実施されています。

### 2. 会員と収益について

現会員数： 606 名

退会者数： 49 名（2018年設立時から累計、亡くなられた方も含む）

### 3. 活動について

#### 3-1. 定期活動

- ・理事会 8回（10/12、11/25、12/07、2/19、5/25、6/14、8/15、9/15 持ち回り理事会 3回〔5/25、8/15、9/15〕含む）
- ・スタッフ会議 7回（11/09、1/11、3/01、4/05、5/24、7/12、9/13）

#### 3-2. 対外事業活動

##### ● カンボジア事業

➤2025年3月18日付けで、シェムリアップ教会へ通常支援金送金（教区内の学校教育支援 etc.）  
1,500,000 円（9,966.12 ドル）。

➤シエムリアップ教会主任司祭から事業報告及び近況レポート（広報誌8号参照）があった。

### ● アフリカ事業

➤今年度はコンゴ民主共和国の国内情勢が著しく不安定であるため、聖マリア修道女会シスター方や現地出身の神父様、さまざまなメディアを通して情報収集を行った結果、当事業年度内の支援金送金を見送った。

### ● 東ティモール事業

➤2025年6月6日、聖マリア修道女会東ティモールの責任者 Sr. コンチス宛に通常支援金（子どもたちの教育と栄養支援 etc）7,000ドルと、同シスターから支援依頼のあった東ティモール Atauro 島の子供たちの課外学習のための支援金4,500ドルを合わせて11,500ドル（1,664,740円）送金した。同シスターから「心から感謝します」とのメールを受信。また、課外学習についての報告をいただく予定。

\*課外学習支援金のために開催したチャリティコンサートについては企画の報告を参照。

## 3-3. 各活動部門の報告

### ● 総務部門の活動

- 会議録の作成及び重要書類を含むこれらの整理・保管
- 会員名簿管理
- 封筒、切手、振込用紙等の発注、在庫管理
- 支援者へのお礼状送付
- Kids & Smile 代表電話の対応
- 会報誌の発送業務

### ● 財務部門の活動

- 会計ソフト Freee での会計処理、処理上の問題点などは税理士とオンラインミーティングで対応した。
- インボイス制度については税理士と相談し、以下の通りとした。

- 物販はチャリティーの一環で、寄付の一環として行うもの。購入者は個人を想定
- 総額は40万程度（原価1000円～2500円程度のポーチ、エコバッグ、ポシェット等
- Invoice 対応する場合は、前年度末（9月末）までに手続きが必要とのこと
- 今回は時軸を考えても必要ないと判断した。

➤海外への支援金送金については、マネーロンダリングを懸念する銀行の対応がますます厳しくな

り、支援金の原資については個人情報にも配慮しながら、銀行が必要とする情報を提供した。

● 情報管理部門の活動

➤ 特記すべきことなし

● 広報部門の活動

➤ 広報誌 Smiling 第8号（2025年8月）を発行

➤ News Letter4（2025年2月）を発行

● 企画部門の活動

➤ 5月9日（金）日本キリスト教団霊南坂教会でケンバニスト塚谷水無子氏のご協力で「微笑みとやすらぎのチャリティコンサート」を開催した。このコンサートの目的は、聖マリア修道女会東チモールのSr.コンチスからの Atauro 島の子どもたちの課外学習の費用補助のため行われた。来場者（プログラム配布数165、塚谷氏個人から事前送付60）225名、山口とオンラインで繋いで、カンガス神父様も参加された。支援額は4,500ドルを目標としたが、事前申し込み、献金方式（入場料無料）での開催であったため目標額には及ばなかったため、大型支援金から補助して Atauro 島の聖マリア女子修道会に4,500ドルを送金した。

3-4. 支援者への啓発活動

今期、カンボジア訪問、東チモール訪問について支援者の方々に報告を計画していたが、それぞれの訪問地の参加者の日程調整および現地の方々との日程調整がつかず来年度の事業に延期されたため、支援者の方々への啓発活動は広報誌 Smiling の発行のみに留まった。

以上

## 第 8 事業年度（2025 年 10 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日）

### 事業計画 ~~（案）~~

#### 1) 総務関係

- ・ 理事会開催 定例理事会 3 回、また必要に応じて開催
- ・ スタッフ定例会 12 回/年（毎月 1 回）予定
- ・ 年次総会 2026 年 12 月頃を予定
- ・ 活動報告に記載の事務作業の実施
- ・ 情報管理と連携して希望する会員への種々の情報をメール配信する予定

#### 2) 財務関係

- ・ 今年度も 1～2 回、アフリカ、カンボジア、東ティモールに通常支援金送金予定  
支援金額については、当該時の資金状況により検討、また為替レートの状況も注視しながら総合的に判断する。

#### 3) 広報関係

- ・ 広報紙 Smiling 1～2 回/年 発行予定
- ・ News Letter 不定期（随時）発行

#### 4) 情報管理関係

Kids & Smile の Web サイト大幅改訂予定

#### 5) 企画関係

前期からの継続案件及び新規事業案を挙げた

- ・ 10 月 26 日(日)開催されるカトリック逗子教会のバザーに外部団体として参加
- ・ カレンダー「神父様と子どもたち」2026 年版を製作・販売
- ・ 小規模講演会、報告会の実施（オンライン開催などと組み合わせて実施予定）
- ・ カンガス神父様の 100 歳、バットンバン友の会発足から 25 周年を迎えるにことを祝してカンボジア、アフリカ、東ティモールの写真展、報告会
- ・ 同じ目的を持った他の支援団体との交流を行う計画

#### 6) 渉外関係

支援先現地の受け入れ状況などを十分に調べ、積極的に柔軟に活動を考えていく。

- ・ カンボジア訪問（現地視察およびボランティア活動）
- ・ 東ティモール訪問(現地視察及びボランティア活動)
- ・ コンゴ民主共和国 政情不安定、伝染病など国の状態が良い方向に向かわず、特に RDC 東部の南および北キブ州は混戦が深まっているため、現地訪問は不可能と言っても良い。現地のシスターと連絡を取り合い情報を得ていく。